

あさお市民活動
レポート

発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

あさお ふれんず

Asao friends

8
2023



未就学児童から中学生対象
7つの楽しいお店！

寺子屋合同プロジェクト
プログラミングを楽しもう！

あらら企画

絵本とあそぼう！

かわさきミュージックチャレンジ

音であそぼう♪

チーム「フランボネ」

吉本興業所属芸人と一緒に漫才を作ろう

新百合園基学園

園基でキレッキレの頭脳を手にいれよう

あさおおもちゃ病院

おもちゃの病院

おもちゃと遊びの会

おもちゃを作って遊ぼう

「やまゆり」を管理運営しているあさお市民活動サポートセンターでは、コロナ禍の影響で子どもたちを集めたイベントを中止していましたが、本年4月の規制緩和に伴い4年ぶりに「ビバ！あさおの子どもたち」が帰ってきます。

今回は「やまゆり」で子どもたちを対象として活動している7団体が、未就学児童から中学生まで参加できるワークショップ形式の楽しいお店を準備します。

スタンプラリーもあります。スタンプをあつめて参加賞をもらいましょう。

お子さんやお孫さんの成長を体感できます。親子3世代で参加してみたいかがでしうか。

詳細はやまゆりHPにて↓



8月号の目次・サークル紹介

4面



花と市民参加の会
“コスモス”

3面



かわさきミュージック
チャレンジ



新百合ヶ丘みち遊び
実行委員会

2面



ダイヤ小田急線友会



アカシアお助け隊

あなたの町でも、はじめませんか！

アカシアお助け隊

住民からの要望に応じて、ちょっとしたお助けをする活動をおこなっている。その内容は、話し相手、ゴミ出し、家具の移動、粗大ゴミの搬送、散歩の付き添いなど。2人で訪ね費用は1時間100円。手に負えない時は専門組織を紹介する。また、高層住宅向けの防災訓練や高齢者の認知症予防体操、車椅子介助などの研修会も開く。

持ち寄つての作品展も計画している。すでに11名から応募があり秋には実現したい。

日本は高齢化が進み、支援を必要とする家庭が増えており、麻生区も例外ではない。これからは、地域でのちょっとした助け合いが、ますます大切になっていく。そのかたちのひとつとして紹介した。合言葉は笑顔のあいさつと優しい声かけ。

取材・文 区民記者 中島久幸



散歩の付き添いで街区の遊歩道を周回する

沐浴の手伝いと、もう一人の見守りで1時間ほど過ごすのが、楽しくてやりのがあるのと。また、集会所を利用して、住民が



ステップをいろいろ変えて棒を超える。間違えるほど脳が刺激され認知症予防に効果大

アカシアお助け隊

事務局：佐間田三七江（さまださなえ）
片山泰子

連絡先：044-989-3163（佐間田）

設立：2018年6月

会員：26名（男性13名、女性13名）

会費：なし（自治会からの補助で運営）

活動日：適時（定例会：毎月第3土曜日16時～）

場所：白山新ゆりグリーンタウン内
アカシア街区

「コミュニケーションこそ大切、と呼びかける

ダイヤ小田急線友会

名称の「ダイヤ」とは、三菱企業グループ（G）のことを指し、1999年、三菱Gの会社をリタイアした小田急線沿線に住む人、25人によって結成された集まり。

活動組織は、中心に「DOS会」（略称でもある）を置き、ここで全体イベントとして、①会員発表（会員による知識・趣味などの講演）、②探訪会（近傍の各所・公園・工場などの見学）、③外部講師講演会（会員の友人・知人を招聘して興味深い話を聞く）を企画し実施する。

このDOS会とリンクするかたちで、「地域グループ交流会」として、セタコマ（狛江）、麻生、王禅寺、町田の4グループが置かれ、入会者は入会と同時にいずれかのグループに所属する。

活動組織はこれだけではない。同好会活動として、テニス、カラオケ、ゴルフ、歌う会、ハイキング、ボランティア活動があり、それぞれに活動が月1回、2回

と行われている。さすが「組織の三菱」ならではの活動組織形態である。

結成後約10年あたりから、三菱Gとは関係のない人も紹介などで入会できるようになり、当時入会し、現在、相談役を務める小出正彦さん（81）は「健康で生き生きとしたシニアライフを過ごし、楽しく交流する場が育っていった」と語る。

会員数は一時100名を超えたが、その後、徐々に減少、現在は64名。それもいたしかたなく、入会時の年齢はだいたい65歳、年数を重ねるなか体調を崩し退会、また亡くなる方が出てくる。

代表の有海昭二さん（74）は、広報紙「DOS会ニュース」を発行し、「高齢者にとって一番大切なことは、人とのコミュニケーション。講演を聞き、探訪、歌、テニス、ゴルフなどを通して元気に過ごして欲しい」と入会を呼びかける。

取材・文 区民記者 神澤秀夫



地域4グループから各2名参加し月1回開かれる世話人会。この会合が、会の活動全体の軸ともなっている（麻生市民館にて）

ダイヤ小田急線友会

代表：有海昭二（ありうみしょうじ）

連絡先：080-5199-9630

設立：1999年

会員：64名（男性53名、女性11名
／65～94歳）

会費：2000円／年

活動日：グループごとに設定

場所：（世話人会）麻生市民館

みちで遊び、まちで育て、まちも育てる

新百合ヶ丘みちあそび実行委員会



遊歩道が子どもたちの遊び場に変身

いつもは人びとの往来に使われている「みち」を、遊び場＆多世代交流の場に変えてしまいうイベントを開催。新百合ヶ丘駅南口のペDESTリアンデッキや、北口の歩道などに人工芝を敷き、そのうえで絵本を読んだり、お絵かきをしたり、昔遊びに興じるなど親子で楽しめる空間を生み出している。

人工芝のうえに集まった子どもたちは、段ボールの砦にクレヨンで絵を描いたり、絵本コーナーで気になった絵本を読んだり、チョークで「みち」に落書きをしたり、思い思いにやりたいことができる。

2歳の女の子を連れてきた母親は「やわらかい人工芝が敷いてあるので、転んでも安心。はじめて出会った子と、おもちやと一緒に使ったり気軽に話ができたりするのも楽しい」とのこと。

『みち』をはじめとするオープン

スペースを自由に使いこなしていくことで、子どもと大人が一緒に楽しみながら、まちを育てていく活動をしたい」と語るのは、代表の嶋田大輝さん（麻生区在住）。楽しみながら、新百合ヶ丘のあちらこちらで開催し、子どもの成長を見守り、まちも育てていきたいという夢を持っている。現在、一緒に活動をしてくれるスタッフを募集中！問い合わせはフェイスブックまたは、現地スタッフまで。

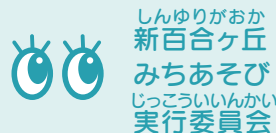
取材・文 区民記者 佐々木直子



子ども向けの本だけでなく大人向けの情報誌も



大きなキャンパスに、思い切り書きいちゃおう



代表：嶋田大輝（しまだだいき）
設立：2019年6月
会員：7名（男性3名・女性4名）
活動日：不定期（春・秋の月1回。毎月第3土曜日、雨天時は日曜日に延期） 10～15時
場所：新百合ヶ丘界隈
入会金：なし
会費：なし
Facebook: shinyuri.streetplay/



すべての人が音楽や芸術を楽しめるまちへ

かわさきミュージックチャレンジ

「かわさきミュージックチャレンジ」はその名の通り挑戦する団体だ。高齢者やハンディキャップのある人も、健常者と区別されることなく当たり前に生活できる、正常（ノーマル）な社会を実現する取り組み「ノーマライゼーション」の精神を持って、誰もが同等に音楽や芸術を楽しめるような活動を行っている。

「やってみたい」という気持ちがあれば参加できる「チャレンジコンサート」を毎年開催。プログラムは楽器演奏だけでなく、創作ダンスやフラフープ演技、けん玉パフォーマンスなど、自分が取り組んできたことをステージで披露する。コンサートは終始温かい雰囲気包まれ、拍手や笑顔が会場に充満する。

令和5年度麻生区の地域コミュニティ活動支援事業にも選ばれ「ミュージックチャレンジ」を設立し、ともに楽しみながら交流を深める取り組みにも挑戦中だ。

取材・文 区民記者 佐々木直子



2022年に開催されたチャレンジコンサートの様子
次はあなたもステージにあがってみませんか
写真提供 かわさきミュージックチャレンジ



代表：小林貴子（こばやしただこ）
連絡先：musicchallenge2019@gmail.com
設立：2019年1月
会員数：6名（女性のみ）
活動日：不定期
場所：麻生市民館、総合自治会館、市民交流室など
入会金：なし
会費：なし
HP: https://kawasaki-music-challenge.jimdofree.com/



季節の花を愛でにいこう ー花と市民参加の会“コスモス”ー

お薦めの場所は、百合ヶ丘カントリークラブの西側に伸びる一方通行の並木道。この長さ400mに及ぶ62本のケヤキ並木の下で、近隣の住友林業住宅とグリーンタウンの住民が花壇の手入れをしている。草刈り、種まき、水やり、清掃などをして草花を咲かせる。とにかく広いのと、近くに水がないので大変だ。ケヤキの落ち葉は集めて腐葉土作成のため川崎授産学園に提供し、大風のあとは歩きやすいように、落ちた枯れ枝はこまめに集める。



並木に添って草花が咲きほこる



夏に備えて苗を植える（6月の取材にて）

活動経費は、区の道路公園センターや市の公園緑地協会からの助成金。取材した日には、道路公園センターの職員が訪れ、植栽や枯れ木の確認、年間活動計画の意識合わせをしていたが、日頃から連絡を取り合っているようで、いい雰囲気だった。

だったが、今では草花が根付き景観が整ってきた。季節の花が咲きほこるので、撮影スポットとしてお薦めだ。また、通学、通勤のほかりハビリを兼ねた散歩やジョギングコースにもなっており、作業中に通りかかった人への声かけを心がけている。令和4年6月には、永年にわたる地域の環境美化活動への功績が認められ、環境大臣から表彰された。

並木はケヤキの木陰で涼しく、今頃はヒマワリ、朝顔、秋明菊、千日紅、コスモス、オミナエシ、トラノオ、ユーパトリウムなどが咲いているのでぜひ出かけて欲しい。また、仲間で研修を兼ねてバラ園を訪ねるなど気さくな会だ。ボランティアも募集中。

取材・文 区民記者 中島久幸



木陰に優しくつつまれて（両脇の職員と共に）

はな しみんさんか かい 花と市民参加の会“コスモス”

代表：蔵口淑子（くらぐちとしこ）
連絡先：090-6158-6367（川名慶子）
設立：1995年4月
会員：15名（男性2名、女性13名）
会費：なし
活動日：毎月第2火曜日（随時）
場所：白山けやき並木（通称）



ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します！

活動を紹介
して欲しい

取材申込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

①団体名 ②代表者名 ③連絡先（電話・FAX・メール）
④活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）
をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを
取材して！

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『麻生市民交流館やまゆり』で編集会議を行っています。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。